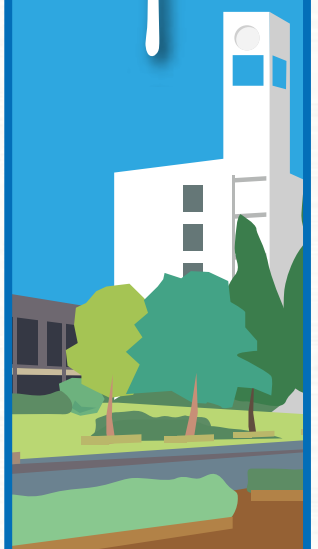




# みゆきレター



## 志は大きく、 新たな挑戦を

卒業式を挙行するに当たり、ご来賓、多くの保証人のご臨席を戴き有難うございます。卒業生の皆さん、大学院修了生、助産学専攻科修了生の皆さん、ご卒業、ご修了、おめでとうございます。本学、教職員を代表しまして、心から、お祝いを申し上げます。

皆さんの多くは、資格取得に励み、実習に参加して、実務能力をしっかりと体得してこられたのではないのでしょうか。また、サークル活動やアルバイトなどを通して実践力を身に付け、働く事には自信のある人が多いのではないのでしょうか。これらの能力が活かされるのはこれからですが、現代のような急激に変化する、明日の状態でええ掴めない社会にあつては、職場で受け入れられ、思い通りに仕事が出来るほど、決して甘くはないでしょう。

従つて、社会人になつた後も、常に、初心に返つて、勉強の始まりだと覚悟して、たゆまぬ研鑽を積み重ねていつて欲しいものです。勿論、大学で学んだことを活かせる機会はたくさんあります。ただ、自分は、専門の資格を持ち、最新の知識や技能を体得していると、自信過剰になり、怠けていますと、すぐに落伍者になつてしまします。また、与えられた職種に対しても、目先の仕事だけに捉われず、地域社会や国際経済との関係で変化していく現状を分析して、将来を見据えた効果的な方法を考へていく発想が重要であり、常日頃、探求心を持つて勉強をしておりますと、会社に有益な情報を提案できるようになる

ものです。

次に、どんなに努力しても、仕事と思うように進まない場合の対処の仕方についてです。このような場合は、自信を喪失することなく、気分転換を図り、自分を鼓舞して、困難に立ち向かつていく心根が大切です。不屈の精神を持つて与えられた仕事に挑戦する心構えを持つて欲しいです。やり遂げた達成感は一瞬、心に残るといわれます。すべてのことをプラス思考で考へて、気持ちを大きく持つて楽天的に乗り越えて下さい。

もう一つお願いしたいことは、会社には、多くの社員と一緒に仕事をしており、上司もおれば、同僚もいるのですから、独りだけで閉じこもらず、開き直つて、集団の中に出て行き、積極的に和気あいあいと過ごす努力をして下さい。特に会社が苦しいときには、お互いに励まし合い、ユーモアを忘れずに明るく接したいものです。

最後に、頑健な身体です。仕事に打ち込むためには、健康な身体が資本です。常時、身体を鍛える努力が大切です。終わりに当たり、皆さんが福山平成大学卒業生であることに誇りを持つて、社会のリーダーとして活躍されますよう、祈念しまして、式辞といたします。

平成二十九年三月二十一日

福山平成大学

学長 田口 則良







## 地域社会の発展に貢献を



本日の記念すべき佳き日に平成28年度卒業生のための式典が盛大に挙行されることになり、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さん本当におめでとうございます。また、本日は多くのお父さん、お母さん等保証人の皆様にもこの目出たい卒業式典にご列席をいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。保証人の皆様が大切に大切に育てていただいたお子様が成人となり、こんなに立派な社会人としての姿で大学の卒業を迎えられ、喜びも一人のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

学校法人福山大学の二つの大学は、憲法並びに教育基本法の基本精神となつてゐる「全人教育」即ち、「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」にしたがい、一人ひとりの学生を大切に育てることを大学の基本理念とし、すべての学生に対する学修指導、生活指導、就職指導に心血を注ぎ、面倒見のよい大学、興味を持つて学業に励むことができる大学として努力しているとともに「地域、社会で働く中核的人材の育成」をミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標に掲げ、努力してまいりました。

ご承知のように経団連等の経済団体は、企業等で働く人材としての責任感、協調性、判断力、創造性、リーダーとしての資質、バイタリティ、社会貢献への意欲

などを強く求めています。

さらに、卒業生の皆様がこれから勤める予定の職種である営業系、企画・事務系、技術系（IT・通信、機械・電気、建築・土木、化学・食品）、店長（店舗管理）、金融系職種、学術・マーケティング関連、専門系職種（医療・看護等）、クリエイティブ系等55種別の「企業が求める人物像TOP3」（アマゾンの調査資料による）では、次の3つを求める人物像として選んでいます。

第一は「積極性」、第二は「柔軟性」、第三は「外向性」となっています。

これからは、まさに企業等で働く中核的人材として、その活躍が強く期待されるわけでありますので、当大学で培った学力と苦勞して取った各種資格を有効に活用し、立派な社会人として活躍されることを心から期待するものであります。

さて、当大学の現状ではありますが、ご承知のように就職につきましては、ここ数年間ほぼ100%が就職するといった全国の大学就職率の平均を遙かに上廻る高い実績を誇っています。これは一重に就職を希望している学生の努力が第一であります。それとともに大学の教職員並びに就職委員会等の大変な努力が実ったものと考えております。

当大学としては、入学した学生には学修に合わせ必ず必要な各種資格を取って卒業するよう厳しく指導しております

が、その成果がこのような形で実ったものと心より喜んでいるところであります。

一方、平成29年度の入学予定者につきましては、昨年を上廻っており、このような実績を挙げておりますのは、一重に当大学の先生方の研究力、指導力などの教育力が極めて高いこと、また、事務職員も就職、入学について、学生に対し本当に親身になって相談に応じ指導していることの結果だと考え、心より感謝しているところであります。

さて、世界の情勢を見ますとイギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領の出現など、まさに不確実な時代でこれからどうなるか懸念されるところであります。しかし、わが国では政府が今年度から進学や就職で地方に残る学生に対する奨学金の返済免除制度を拡充し、地元企業やNPOと連携する地方大学の支援を強化する方針「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進めるよう決定するなど、地方大学の育成に一層力を入れることになっていきますのでご安心願います。卒業生の皆さん、大学で培った知識や経験を活用し、国家、社会のため有為な人材として活躍されますよう祈念し、ご卒業のお祝いの言葉といたします。

平成二十九年三月二十一日

学校法人 福山大学

理事長 清水 厚實



# 門出を祝して卒業生に送る言葉

## 信念をもって一歩一歩前進

経営学部長 坪井 始



卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんが入学してから四年間、大きく成長されたことと思います。

1月には経営学科の卒業論文の発表会があり、卒業生の皆さんの発表を見ていただきました。資料を集め、指導教員や他のゼミ生と意見を交わしながら、1年かけてまとめた論文の発表には迫力があり、皆さんの4年間の成長の記録を見ているようで頼もしく感じました。答えのない問題へのチャレンジ、社会に出てからたくさん遭遇しそうな問題へのアプローチの仕方の一つを身につけられたと思います。

「はやぶさ」に続いて、2014年12月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」が、一昨年の12月3日に地球スイングバイによって、小惑星「リュウグウ」への軌道にのりました。2018年に小惑星に到着し、サンプルを採取して、2020年に地球に帰還する予定です。この数年にわたるミッションは長いようですが、私たちの人生からみれば、そうではないかもしれません。また、私たちも人生の中で、様々な困難に立ち向かい、ときには長い忍耐の時期を過ごすこともあります。

今まさに、みなさんは社会人としての一歩を踏み出そうとしています。それは、家族や大学から守られた学生という立場から、自ら道を切り開いて社会の一員として生きていくための第一歩です。また、これは人生の中で大きな節目のときでもあります。就職するということは、社会の一員となることです。いままで置かれていた環境が大きく変わり、それに対応する必要があります。これは、自分自身を見つめ直すよい機会です。学生時代に築いてきたことを生かし、自分を再認識して、自信をもって新しい一歩を踏み出していきたいと思います。

そして、みなさんの歩く道は、平坦な道だけではないと思います。険しい坂道があり、大きな壁が立ちはだかるかもしれません。大学で学んだことを基礎にして、常に新しい知識を吸収し、的確な判断力をもって、そのときの課題に対応できるように精進していただきたいと思えます。そして、目標に向かって一歩一歩、ときには半歩しか進めなくても自分自身のやり方で自信をもって前進してください。

みなさんの新しい人生の門出に、幸多いことをお祈りいたします。

## 卒業生に贈る言葉

福祉健康学部長 永井 純子



皆さん、御卒業おめでとうございます。福山平成大学での学生生活はいかがでしたか。新入生オリエンテーションキャンプに始まり、学長杯、御幸祭、それ以外に学科毎にもいろんな行事がありましたね。学生食堂や図書館、体育

館、コンピュータ室でも随分お世話になったのではないのでしょうか。授業はどうでしたか。積極的に取り組むことができたか。卒業論文や修士論文の作成ではこれまでにない苦しみを経験したのではないかと思います。しかし、その苦しみこそが自分を成長させると考えます。先の見えない不安と苦しみにも耐えながら、根気強く頑張って論文を仕上げたあなたはとても素晴らしい。本当に良く頑張りましたね。成功を勝ち取るためには努力が欠かせないことを体感できたのではないのでしょうか。努力することで成功を経験し、成功することによって自分に自信を持つことができる人になつてくれればと願っています。しかし、人生はそううまくはいかないこともあると思います。トーマス・ヘンリー・ハックスレーは「若いうちに失敗することは実は非常に有益なことである。肝心なのはそれで潰れないことである。」と言っています。いろんな人に助けてもらいながらで結構です。教室を離れても学ぶことを続けて下さい。そして方向感覚を失わず、学ぶ意志や欲求を持ち続けて下さい。いつかきつと成功する日が来ると信じています。

ところで、ある僧侶の講話によると世の中には3つの「善」があるそうです。第一は「法律上の善」で、法律や規則、しきたりや社会規範などに従って行動すれば善、第二は「道德的善」で、はつきりしたルールや答えのない場面でのようにふるまうべきか、正しい価値判断を行い、その判断に従って行動すれば善、第三は「宗教的善」で私心を捨て、他者の幸せを求めていく慈悲の心で行動すれば善です。（児島邦弘「三つの善」）つまりこれから社会に出ていく皆さんが成功するためには、第一に時間やルール等、規則を守ること。どうすれば良いか判断に困ったときは一人で判断せず、信頼できる人に相談して正しい価値判断をすること。自分のことだけでなく、他者の気持を理解できるように行動すること。この3つの「善」を心がけて行動すればきつと道は開かれると思います。

最後に、「一生懸命頑張ると息苦しくなる時期があります。そんな時はいつでも大学に来て下さい。私たち教員一同はいつでも皆さんの幸せを心から祈っています。」

## 新たな門出、おめでとうございます

看護学部長 森田 なつ子



ご卒業おめでとうございます。晴れの門出を迎えられた看護学部看護学科7期生の皆さん、保証人の皆様に心からお祝い申し上げます。

さて、現在、医療・介護分野において、高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービスを切れ目なく提供するために、地域包括ケアシステムの構築が図られています。看護職は少子高齢社会に対する人材育成をはじめとし、看護職の役割拡大の推進などが行われています。

本看護学部は教育理念の基、皆さんは看護専門職に必要な学びを4年間修得してきました。初めの一歩は小さいかも知れませんが、社会で仕事をしていく中で、情熱と努力で培った知識と技術を活かし、臨床での教育を継続し、後々の仕事の質や量などキャリア教育につなげて行ってください。これから、職場や人生のさまざまなシーンで課題にぶつかりたりすることもあるかも知れませんが、その時は、臨地実習などでも励まし合ったり慰め合ったりした仲間がいること、思い出せば共有できる大学という場がここに一つあることを思い出してほしいと思います。「これから」は、看護専門職として、皆さんが今、どこで、どのようなことを考えているのか、どのような看護実践をしているのか、是非、私たちに教えていただきたいし、後輩たちにもアドバイスをしてください。看護専門職としての自信と誇りを持つて新たな目標に向かい、人と出会いなど歳を重ねていける皆さんの近況を聞かせていただけることは嬉しいものです。同じ看護専門職の仲間としてこれからの看護を語り合い、看護の質の向上に協働して行きたいと思えます。また、皆さんが更なる学問を究めたい時なども、何時でも母校を訪ねてください。大学は、これからも皆さんを応援し続けます。皆さんも大学を応援してください。地域における医療、保健そして福祉向上のために自分の力を信じ、希望した職場で新たな出会いの中、未来の可能性に向け、活躍されることを願っております。

また、助産学専攻科並びに大学院看護学研究科修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。助産師として、看護専門職のリーダーとして大いに活躍され、看護専門職の発展に寄与されることを期待すると共に、ご多幸をお祈りいたします。



# 大学生活を振り返って 四年間のメッセージ

## 4年間を振り返って

経営学科 安光 鴻奈



長いようで短かった大学生活も終わり、卒業の日を迎える今日、私の4年間を振り返って一言で表すと「勇往邁進」の日々でした。常に自分で決めた目標に向かってひたすら努力する、言葉にすると固く聞こえますが、私にとってそんな日々はとても充実したものだったと思います。

大学に入学して1年目は、初めての環境に期待と同時に大きな不安もありました。全てが新鮮に感じるこの環境に、ひたすら慣れることに必死だった頃を懐かしく思います。

2年生の頃には少し余裕も出てきて、これからの大学生活をどうするかを考えるようになりました。私はこの時から事務職に就きたいと考えていたので、役に立つ資格を取りたいと思い、チャレンジゼミに入りました。チャレンジゼミは様々な資格取得を支援するゼミで、特にITパスポート取得のための学習に力を入れていました。ゼミでの勉強にも力を入れていましたが、この1年間は大学祭の運営委員としても活動しました。たくさんの人と関わりながら大学祭を作り上げていくことは、私にとって良いパワーストとなり、これからの新しい挑戦への後押しをしてくれました。

3年生ではITパスポートの学習に本腰を入れ、約半年を経て取得することができました。3年生の間までは本当にたくさん資格取得のために努力してきました。これを通して自分の知識もより豊かなものになり、就職活動の助けにもなったので、この努力は無駄ではなかったと思います。

4年生に入ってから本格的に就職活動が始まり、嵐のように慌ただしい日々でしたが、良くも悪くもあつという間に感じられる期間でした。私は福祉施設の事務で応募し、幸いにも内定を頂くことができました。就職活動が終わってから卒業論文もありましたが、自分の時間も持てるようになりました。それを利用して、前から興味を持っていた海外研修でタイに行くことにしました。研修を通して他大学の人たちとの交流や、未知の世界を知ることができる良い刺激になりました。

4年間という膨大な期間を前にして、最初は何をしただいいいかわからないという人も多いと思います。私は「考える前に跳べ」という言葉をいつも心に留め、とにかく挑戦してみようというのを大事にしました。決して楽ではないけれど、すべてやり遂げたあとの達成感は何にも変え難い素晴らしいものとなりました。そんな私の4年間を支えてくださった周りの人たちに感謝するとともに、在学生の皆さんには充実した学生生活を送られることを願っています。

## 今、私が叫びたいこと

こども学科 大田 和美



ついに卒業の時がやってきました。入学式で桜を眺めていたことが昨日のように感じられます。こども学科では保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の三つの資格・免許を取得することができました。

私は幼いころから子どもと関わる仕事がしたいと思っていましたので、入学時に全ての免許を取得しようという決意、大学生活を始めました。

1年生のころは何もかもが新鮮で、楽しいばかりでした。2年生、3年生では授業が多くなり、予想以上に大変で挫折しそうにもなりました。そんな中で教育実習、保育実習は不安もありました。しかし、実習先の先生方のご助言や、こども学科の先生方のご指導、共に学ぶ仲間との支えがあり、全ての実習を無事に終えることができた時には達成感でいっぱいでした。

ところが、少しずつ卒業が近づき、4年生になると就職という大きな壁に突き当たりました。どの職業も魅力的で、ぎりぎりまで一つの進路に絞り切ることができず、大学生活で最も悩み、最も勉強をした一年になりました。最終的に広島県・広島市の小学校教員採用試験に合格することができたのは、親身に相談に乗ってくださり支えてくださったゼミ担当の伊藤先生のおかげです。また、ともに小学校教諭になるという志をもち、採用試験を受ける仲間がいたからこそ、こども学科棟の採用試験対策室でコツコツと勉強を続けることができたのだと思います。

大学生活を振り返ると多くの方々に支えられ、大切な仲間に出会うことができて本当に充実した4年間でした。来年度からは一人の教師として教壇に立ち、小学校の児童たちを指導する立場となります。そんな今心の底から大きな声で叫びたいと思います。

「こども学科、最高!!」  
4年間、本当にありがとうございました。

## 大学生活を振り返って

福祉学科 金本 美細



この4年間の大学生活で、学業やサークル活動、アルバイトなどを通してたくさんの人と出会い、多くのことを学び、成長することが出来ました。

私は、中学の頃から障がいを持つ人たちとかかわる仕事をしたいと考えてきました。そこで、3年生の社会福祉現場実習では障害者支援施設に行くことにしました。知的障がいや自閉症を持つ人々と接する中で、一人ひとりの個性や障がいの特性に気づくことが出来ました。そして、利用者さんたちのニーズに応える支援の方法を職員さんたちから学ぶことができました。

4年生になってからは、社会福祉士国家資格を取得するために勉学に励みました。一人ではくじけそうな勉強も友達と支えあい、刺激しあうことで乗り越えることが出来ました。先生方も親身になってくださり、どんな些細なことでも分かりやすく教えてもらうことが出来ました。

学業以外ではアルバイトにも力を注ぎました。笑顔や挨拶といった社会人としての振る舞い方、そして責任をもって仕事をする事の大切さを学びました。アルバイト先では目上の人とも接することが多いので、敬語など礼儀も自然と身についていきました。

長いようで短かった4年間は私にとって、大切に貴重な時間となりました。辛いこともありましたが、友人や先生、家族など多くの人に支えられ乗り越えることができました。大学生活の中で支えていただいた方々に本当に感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れず、様々なつながりを大切にしたいと考えています。そして、大学生活で培った知識と経験を活かした福祉実践を通して、社会に貢献していきたいと思っています。

## 学生の思い出

健康スポーツ科学科 新良貴 優



私は体育教師になることを目標とし、健康スポーツ科学科に入りました。

体育教師を志したきっかけは、高校時代の恩師の姿にあこがれを持ったことでした。その恩師は自分の学生時代の話や経験談がとても豊富で、私にたくさん知識を与えてくれました。その時、私は「自分の経験を活かした仕事がしたい!」自分が育てた生徒たちがどのような人間になるのかを見てみたい!と感じ、教師になると決めました。大学生活では、学業はもちろんのこと選手としても全力で取り組み、数々の大会で活躍することができました。学業と選手生活の両立は忙しく、とても辛い時期もありました。授業で学んだ内容を練習に取り入れたり、身体について学ぶことで、何かしらの形で競技力に活かせるのかと試行錯誤する日々は楽しくもありました。そうして過ごしてきた4年間には、たとえ目に見えないような結果が付いてこずとも、とても意味のある4年間であったと感じています。これまで様々な問題を抱えながらも、この大学で学び、競技に全力で取り組んできたからこそ、体育教師になるという夢が叶ったのだと思います。

そしてその背景には、私を応援し、支えになって下さった教職員の皆様や、友人、家族の力があることは決して忘れません。今、の私があるのは、この大学で出会った人、学んだこと、関わりを持った出来事すべてがあつて「今」があるからです。何か一つ誰かひとりでも欠けていたならば、「今」の私は居ないでしょう。これからも一つ一つの出会いを大切にし、人との関わりを通して、学び続けることに力を注いでいきます。

## 大学生活を振り返って 四年間のメッセージ

看護学科 高良 尚龍



将来の夢を聞かれた時に、「看護師になりたい。」と思ったのは中学生の時でした。そして4年前、その夢を叶える為に、本学の看護学部看護学科の門を叩きました。入学式では、数少ない男子看護学生とすぐに打ち解けることができた、これから夢を叶えるための勉強をするんだという期待と、女性主体の世界に足を踏み入れる事への不安を抱いて始まった大学生活だったのを今でも鮮明に覚えています。

4年間で最も印象に残っているのは、やはり看護学実習です。1年次にあった基礎看護学実習1では、初めてナース服に袖を通し、少しでも知識を吸収しようと、病棟看護師の後ろを一生懸命ついて行ったのを覚えています。3年次後期からは、半年間続く各論実習があり、1人で患者様を受け持ち、病棟看護師や引率の先生と一緒に、患者様にとっての問題とは何か、どうすればその問題は改善の方向へ向かうのかを何度も話し合い、悩み、限られた環境の中で行えるケアやリハビリテーションを患者様と共に行うことができました。実習は毎日の記録が大変で眠れない日も多く苦しい日もありましたが、引率をしてくださる先生方や、同じグループ内のメンバーで励まし合い、最後まで頑張ることができました。また、患者様からの「ありがとう」や「君はきつと良い看護師になるよ」という言葉は、いまでも私の原動力となっています。

看護師国家試験は、4年間学んできたことの集大成であり、プレッシャーも大きいものでした。しかし、4年間苦楽を共にしてきた仲間、最後まで応援して下さった先生方、家族の支えがあり、自分の出せる精一杯の力を出し切ることができました。

4年間を振り返ると、環境に恵まれ、仲間にも恵まれた4年間であり、本当に楽しく、幸せな時間でした。この春からは、社会人1年生の看護師として働くことになり、ですが、置かれた場所で咲ける花になれるよう、4年間で学んだことを活かしつつ、向上心を常に持ちながら、今後に繋げていきたいと思っています。





## 平成28年度 卒業者数

| 学 部         | 学 科               | 卒業者数 |
|-------------|-------------------|------|
| 経 営 学 部     | 経 営 学 科           | 23名  |
| 福 祉 健 康 学 部 | 福 祉 学 科           | 26名  |
|             | こ ど も 学 科         | 51名  |
|             | 健 康 ス ポ ー ツ 科 学 科 | 94名  |
| 看 護 学 部     | 看 護 学 科           | 97名  |
| 計           |                   | 291名 |

| 研 究 科                 | 専 攻                 | 修了者数 |
|-----------------------|---------------------|------|
| ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科 | ス ポ ー ツ 健 康 科 学 専 攻 | 2名   |
| 看 護 学 研 究 科           | 看 護 学 専 攻           | 3名   |
| 計                     |                     | 5名   |

| 専 攻 科       | 修了者数 |
|-------------|------|
| 助 産 学 専 攻 科 | 10名  |

|     |      |
|-----|------|
| 合 計 | 306名 |
|-----|------|



### 御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育くむ。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑戦。

## 平成28年度 学生表彰者一覧

このたび、「学生表彰」として学長賞が第20回学位記授与式において次の学生に、田口学長から表彰状と副賞が手渡されました。

学長賞は「学業部門」において、特に優秀な成績を修めた学生に授与されるもので、今年度は、5名が表彰されました。

### 学 長 賞

|           |       |
|-----------|-------|
| 経営学科      | 安光 鴻奈 |
| 福祉学科      | 清永 隆浩 |
| こども学科     | 井上 莉沙 |
| 健康スポーツ科学科 | 内藤 桜  |
| 看護学科      | 大胡 純子 |

編 集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発 行 福山平成大学

発行日 2017年3月21日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>